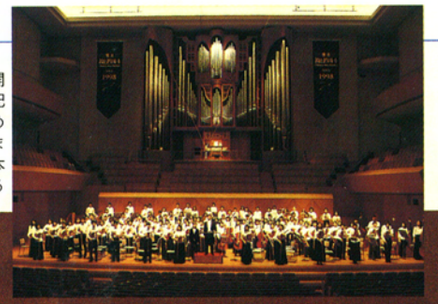
神奈川大学附属中・高等学校

音楽部●第12回定期演奏会……3月17日(日)

学校DATA

●所在地／〒226-0014　神奈川県横浜市緑区台村町800
☎045(934)6211　http://www.fhs.kanagawa-u.ac.jp/
●交通の便／JR横浜線「中山駅」徒歩15分。相鉄線「鶴ヶ峰駅」から相鉄バス15分ひかりが丘団地行終点徒歩3分

リハーサルも終わり開演直前には全部員で記念撮影。中1ははじめて、高2は最後と、さまざまな思いをのせて本番のときが刻々と迫る

タクトを振るのは顧問の野村先生。その指導のもと、100名を超すオーケストラのぴったりと息の合った演奏が聴衆を魅了した

鳴り止まない拍手が何よりも証明する実績どおりの高い演奏力

自由な校風と先生の情熱的な指導が魅力の神奈川大学附属。全校生徒のうち約1割（130名）が所属し、ボランティア演奏にも力を注ぐ音楽部の「第12回定期演奏会」が、3月17日、横浜みなとみらい大ホールで開催されました。

午後1時30分開演。その10分前には、収容人数2000を超す座席もほぼ満席の状態となり、訪れた家族、友達、OB、OGのボルテージは高まるばかり。たんに同部への愛着があるだけではありません。2001年度の全国学校合奏コンクールの高校の部神奈川県第1位、関東甲信越第2位という、ハイレベルな演奏も楽しみなのです。そして、照明がおとされた厳かな雰囲気のなか、期待どおりの演奏に1曲終わるごとに盛大な拍手が、いつまでも鳴り止みませんでした。

同部からはそのまま音楽の道に進む生徒も珍しくなく、01年度も3名が音大に進学。この演奏会でパイプオルガンを担当した中3生も、この4月から作曲コースのある高校に進み、本格的に歩んでいきました。個々の新たな可能性を導く私学ならではの教育指導は、部活動においても確かな方向性を指し示してくれているようです。

私たちのステージへようこそ！

心奏でるシンフォニーオーケストラ 人気、実力ともに折り紙つきです

入部前は、ほとんどの生徒が楽器に触ったことすらないなんて、とても信じられない。それほどまでに迫力ある演奏は、私たち聴衆を圧倒した。顧問の先生の言う、「聞いてくださる人への感動」は、十分すぎるぐらい胸にしみわたってきた。

本番当日は午前10時からリハーサル開始。休憩を1回はさんだだけで、アンコールまでの全10曲を入念に最終チェックしていく。途中、先生の厳しい声が飛び、いやがおうにも全員に緊張が走る。開演1時間前まで、繰り返し指導は続いた

この定期演奏会は受験を控える高2の引退式も兼ねている。お世話になった先輩を送り出す下級生だけの練習も熱を帯びていた

Programs

第1部

Part I

威風堂々
POMP and CIRCUMSTANCE
エドワード・エルガー　Edward Elger

ミュージカル「コーラスライン」より
Selections From "A CHORUS LINE"
マービン・ハムリッシュ　MARVIN HAMLISH

ハンガリー行進曲
HUNGARIAN MARCH
ヘクター・ベルリオーズ　HECTOR BERLIOZ

ビッグバンドへの挨拶
A SALUTE TO THE BIG BAND
キャルビン・カスター　CALVIN CUSTER

第2部

Part II

オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲
Intermezzo From "CAVALLERIA RUSTICANA"
ピエトロ・マスカーニ　PIETRO MASCAGNI

ミュージカル「マイフェアレディ」より
MY FAIR LADY
フレデリック・ロウ　FREDERICK LOEWE

交響曲　第5番　ホ短調　作品64　第4楽章
SYMPHONY No.5 e minor op.64 Finale
チャイコフスキー　Pyotr Ilich TCHAIKOVSKY

指揮者と譜面を交互に見る凛とした表情からは、真摯に打ち込む美しさが見てとれる

初心者の集まりがいつのまにか楽団員に。これぞ、"神大マジック"

週に1回全員で合奏する以外は、パートごとの練習です。そのなかでは中3が中2を、中2が中1をというように、1学年上の生徒がすぐ下の面倒を見ていきますから、縦の関係から責任感を学び、腕のほうも自然と磨かれていきます。とは言っても、入部当初は、ほとんどが初心者の集まり。それがどうにか定期演奏会を開くまでに上達するのですから、中高生の限りないパワーを感じずにはいられませんね。生徒には演奏して楽しむ要素に加え、聞いてくださる多くの人に喜びを与えることも学んでほしいです。音楽から、自分と相手のことを考えていける素養を身につけてもらえたら最高ですね。

音楽部顧問
野村謙介先生

取材・文／河原俊次　PHOTO／川合　泉